

日本熱傷学会  
熱傷専門医認定研修施設  
先生方御机下

日本気管食道科学会  
理事長 香取 幸夫  
臨床研究委員会委員長 藤 也寸志  
研究代表者 山下 拓

## 研究へのご協力をお願い

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

この度日本気管食道科学会では、学会推進臨床研究としまして、「**気道熱傷の実態と管理評価法、予後に関する全国調査**」を採択し、開始させていただくこととなりました。

気道熱傷は気管挿管を要するかの迅速な判断や ARDS に対する呼吸療法などの全身管理、さらには遅発性の嚥下障害など、救急科や形成外科、呼吸器内科や耳鼻咽喉科など複数の科が関わる疾患であり、かつ様々な医療機関に患者が点在しているため、全国的に情報を 1 つに集約した研究が必要な非常に重要な課題の一つであると考えております。

本研究は 2017 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までに**気道熱傷・気管熱傷・喉頭熱傷と診断された患者を対象とした臨床的項目の後方視的研究**です。

今回弊社認定専門医研修施設だけでなく、熱傷の治療に日々当たられている熱傷専門医認定研修施設の先生方からの情報もいただくことは、気道熱傷の実態の把握において大変貴重かつ必須であると考えております。そのため日本熱傷学会代表理事佐々木淳一先生に調査のご協力をお願いさせて頂きましたところご承諾いただきましたため、先生方に本研究参加をご検討頂きたくお願い申し上げます。

【以下に本研究のご参加手順について記載申し上げます】

① 研究にご参加頂けるか検討頂くための Google Form を用意しております。

<https://forms.gle/vxmnU6iw6Kw8n98f8> もしくは以下の QR コードからアクセスいただけます。



- ② データの入力は、UMIN INDICE cloud を用いて web 上に行います。UMIN ID をお持ちでない先生方にはご登録の案内を送らせて頂きます。
- ③ 別途お送り致しました調査項目についてご検討頂き、UMIN INDICE cloud にて症例登録並びに臨床項目の入力を行って頂きます。(入力にかかる所要時間は1症例あたり 5-10 分程度です)
- ④ 研究を論文にまとめる際には登録症例数が多い施設の先生を共著者に加える予定です。(投稿雑誌の規定に応じて、可能な共著者数を考慮します)

御会の卓越した認定施設及び先生方と、弊会の組織とが協力することになれば、大きな成果を生むものと確信しております。つきましては、大変お忙しい中恐縮ではございますが、上記研究参加につきましてご検討をいただけますよう切にお願い申し上げます。何卒よろしくお願い申し上げます。